

令和 2 年 度 自 己 評 価 の ま と め

A:実践が進み、着実に成果を上げている。
B:実践に努め、徐々に成果を上げている。

C:実践に努めている。
D:努力を要する。

基準値=2.5

領域	教育目標・学校運営	評価						取組方法・改善 方針について
		A	B	C	D	平均点	昨年度	
1	教育目標は、学校や生徒の実態、地域等の要望を踏まえている。	2	12	4	0	2.9	2.6	
2	教育目標の達成に向けた校内体制は適切に組織されている。	2	8	6	2	2.6	2.6	・管理職のリーダーシップで、教職員間のコミュニケーションを活発にする。
3	教職員間、教職員と管理職間の対話が推進され、協働意識が形成されている。	3	7	5	3	2.6	2.5	・業務上の報告・連絡・相談がしやすく、様々な問題を解決することができた。 ・管理職のリーダーシップで、教職員間のコミュニケーションを活発にする。 ・コミュニケーションを取る必要がさらにある。
領域	教育課程・学習指導(教育課程の状況)	A	B	C	D	平均点	昨年度	
4	教育課程は生徒の進路志望の実現に相応しいものである。	2	10	6	0	2.8	2.6	
5	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習・指導方法の改善のための取組が推進されている。	2	9	7	0	2.7	2.4	
6	生徒の実態を踏まえた教材研究や授業方法の工夫・改善が図られている。	2	13	3	0	2.9	2.8	
7	基礎学力の定着や自主的に学習する態度の育成が図られている。	2	8	6	2	2.6	2.5	・就学の意思に欠ける生徒の進路変更などがあったが、建て直しの機会にするべきだ。
領域	進路指導	A	B	C	D	平均点	昨年度	
8	進路学習や講習・模試の設定等の取組は生徒の進路目標達成を十分支援するものがある。	4	11	3	0	3.1	3.0	・進学講習等が日常的に実施されている。
9	勤労観や職業観等、生徒が主体的に進路選択の能力・態度の育成に向けた指導が行われている。	3	7	7	1	2.7	2.8	・主体的になれない生徒へのアプローチ方法を検討する。 ・制約が多い中、可能な限り外部機関を利用した進路指導を行うことができた。
10	保護者に対し、3年間を見通した進路指導計画を明確に説明している。	2	7	7	2	2.5	2.5	・進路だけでなく、説明会を設定する。
11	保護者に対し、生徒の進路決定など進路指導に関する情報提供は十分に行っている。	2	10	5	1	2.7	2.6	・今年はコロナの影響で予定していた講演会が実施できなかった。 ・進路よりは3回にとどまった。(12月現在)
領域	生徒指導	A	B	C	D	平均点	昨年度	
12	校内組織の連携が図られ、学校全体で生徒指導に取り組むことができている。	3	1	12	2	2.3	2.4	・教員による指導の統一性をもっと図る必要がある。
13	保護者や地域社会、関係機関等との連携・協力が図られている。	2	11	5	0	2.8	2.5	
14	規範意識の向上に努め、社会の一員としての自覚を促す指導が実施されている。	2	7	6	3	2.4	2.4	・規範意識が育ちにくい現状を改善するための方策が必要である。教員と生徒とのコミュニケーションをもっと図る。 ・教員による指導の統一性をもっと図る必要がある。
15	学校行事や生徒会・HR活動等を通して生徒の豊かな心の育成が図られている。	2	11	5	0	2.8	2.8	
16	教育相談体制を整備し、相談活動が積極的に行われている。	4	14	0	0	3.2	3.0	・教育相談週間を設けている。
17	いじめの未然防止や発生時の対応は適切に行われている。	2	12	4	0	2.9	2.6	

領域	健康・安全指導	A	B	C	D	平均点	昨年度	
18	家庭や地域の保健・医療機関等との連携が行われている。	3	13	2	0	3.1	2.8	
19	疾病予防等、生徒の自己健康管理能力向上のための取組がされている。	4	13	1	0	3.2	2.6	
20	校内外の事件・事故や災害等に対する危機管理体制は適切に整備されている。	2	10	6	0	2.8	2.8	
21	教職員・生徒の安全対応能力向上を図る取組がされている。	3	7	8	0	2.7	2.7	
22	校舎・校地の環境は適切に維持されている。	5	12	1	0	3.2	3.0	・事務部と公務補さんの努力に敬意を表します。
領域	特別支援教育	A	B	C	D	平均点	昨年度	
23	特別支援教育委員会が機能し、各学年等との連携が図られている。	3	12	3	0	3.0	2.6	
24	生徒の実態把握が行われ、支援を必要とする生徒に、具体的な支援活動がされている。	3	13	2	0	3.1	2.7	

◆ 校長が掲げた重点ポイントについての評価

(基準値=2.5)

重点ポイント		A	B	C	D	平均点	昨年度	
1	信頼され選ばれる学校づくり (学校便りや学校ホームページ等の広報活動の充実)	3	11	4	0	2.9	2.9	・HPが更新されている。
2	組織運営 (学校経営に関する適切な情報の提供と面談等による指導、アクションプラン:働き方改革の推進)	3	11	3	1	2.9	2.8	・管理職の先生方の努力で、以前より改善が着実に進んできたと思う。 ・さらに、全教職員の意思疎通が図られるようにする。
3	教職員の資質向上 (管理職からの日常的かつ適切な指導の実施と情報提供)	3	8	6	1	2.7	2.7	・意欲のある先生が報われる環境になりつつあるので、これからも一層頑張りが評価される職場であって欲しい。 ・さらに、全教職員の意思疎通が図られるようにする。
4	学習指導 (シラバスを基本とした指導・評価の意識化、授業評価等によるシラバスの見直しと改善)	2	10	5	1	2.7	2.5	・シラバスを抜本的に改定し、指導・評価の意識化を実行できるように、直ちに改める必要がある。
5	生徒指導 (生徒会活動、就業体験、ボランティア活動等、生徒主体の活動の活性化)	2	11	5	0	2.8	2.8	
6	進路指導 (3年間を見通した組織的で計画的な進路指導の実施)	3	12	2	1	2.9	2.8	・3年生の進路指導について、組織的に行うための方策が必要。 ・最大限の努力はしていると思う。
7	健康・安全指導 (SCとの情報共有や教育相談週間における面談等による生徒理解の深化)	4	13	1	0	3.2	2.9	・適切に実施できている。

【自由記述欄】

- ・生徒指導、進路指導において、指導の方向性や基準が曖昧だと考える。特に、進路指導は、小論文や面接指導の学校としての統一した型式がないため、指導する教員によって内容や方法が違い、事前指導が機能していないと思う。
- ・反省会議を前期末に設けることはできないか。反省、改善点を前期末で一度整理して、改善できるものから順次取り組むことができないか。
- ・学校規模(生徒数、教員数)に合わせて、業務内容や行事内容の精選が必要である。
- ・管理職は、教職員のサービスをしっかり把握して、教職員の意欲を大切にもらいたい。